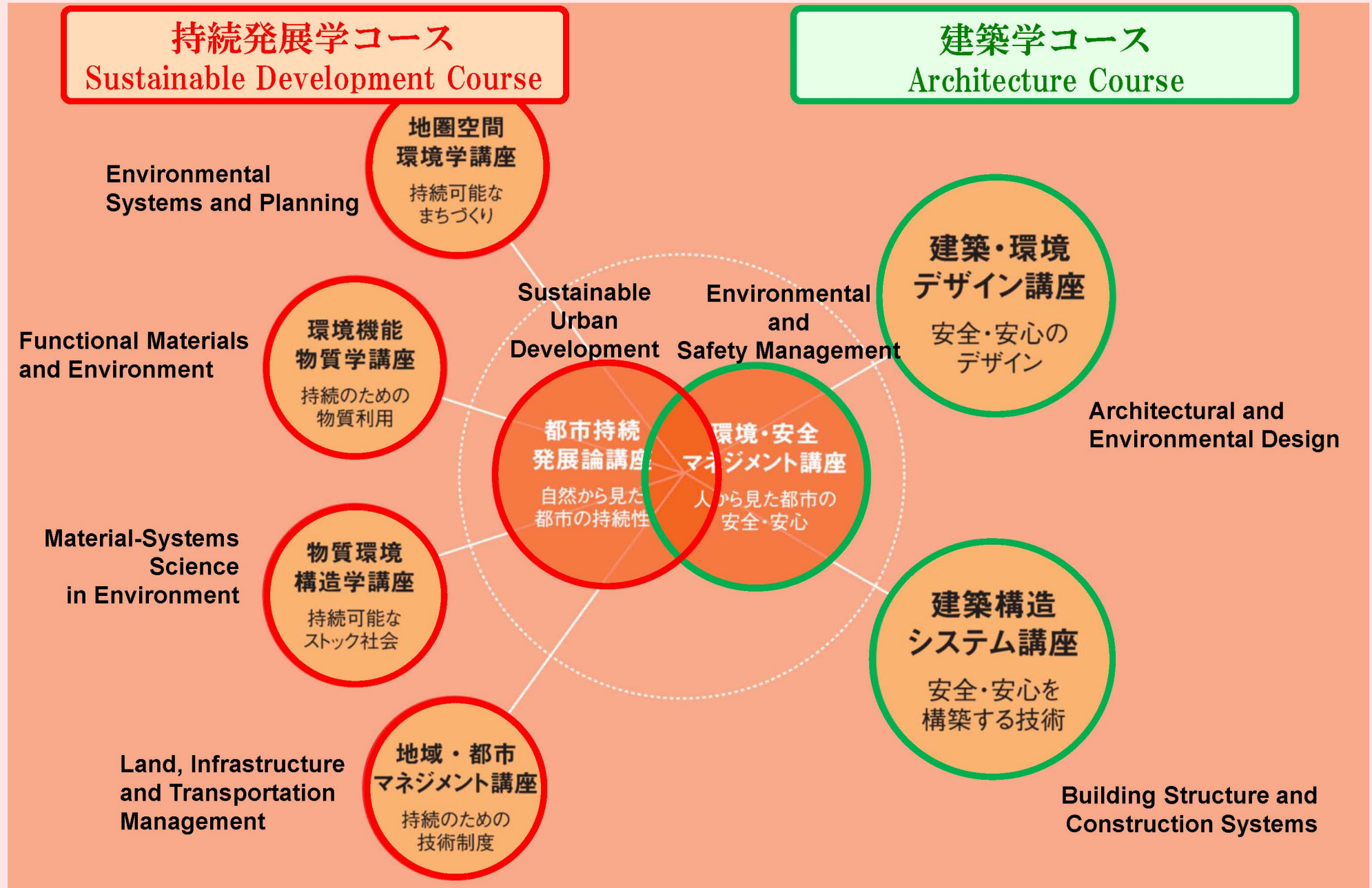


都市環境学専攻



Department of Environmental Engineering and Architecture

谷川寛樹 専任教授



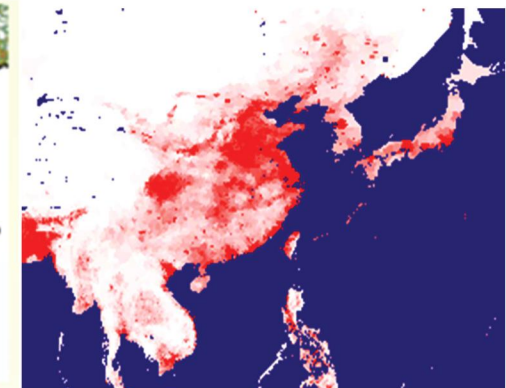
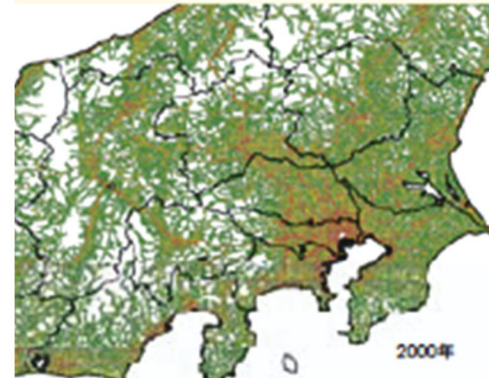
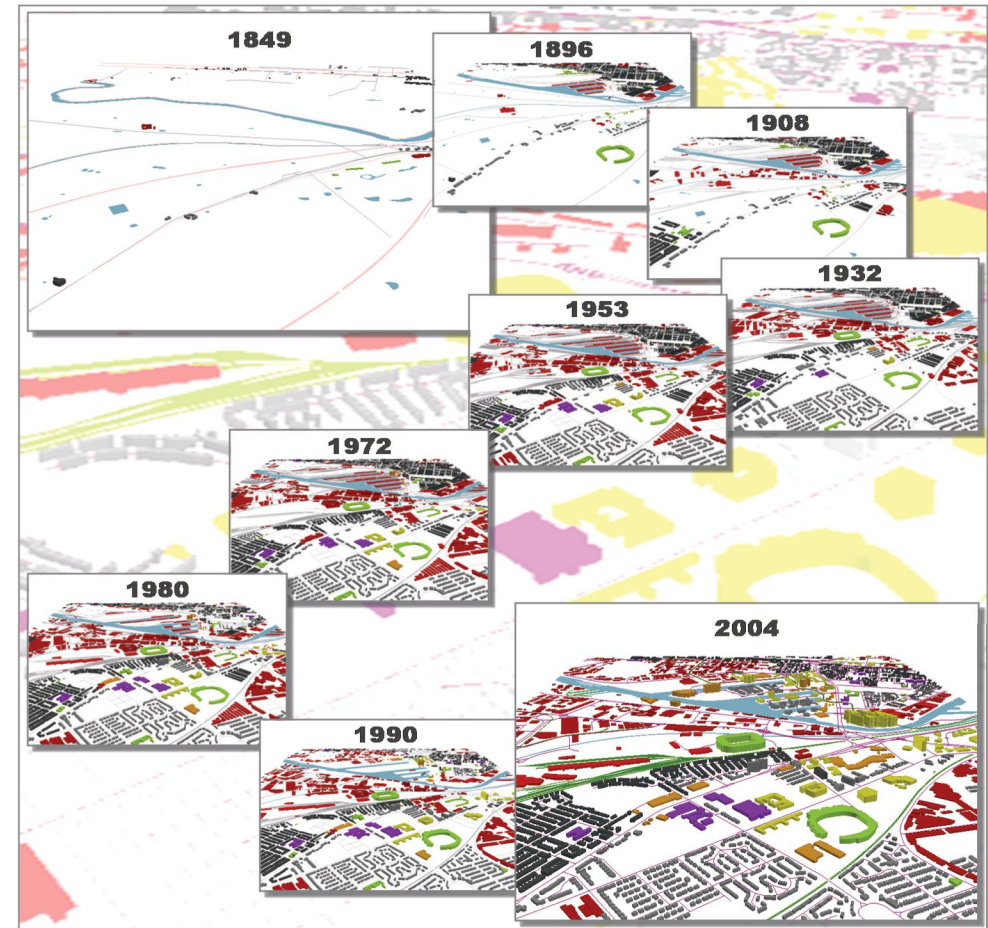
九州大学大学院工学研究科で修了。和歌山大学・マンチェスター大学を経て、名古屋大学へ。専門は環境システム工学。

研究テーマ

- ◇ 都市の「重さ」と持続性: マテリアルフロー・ストック分析
- ◇ 低物質・低炭素型の持続可能な社会
- ◇ 都市建築物やインフラの資源投入・排出量の定量化
- ◇ GISを用いた経年ストック推計・面的分析
- ◇ 中国・インド・アジアにおける持続可能な発展経路
- ◇ MFAを用いた持続可能性指標に関する研究
- ◇ Google Earthを用いた地理情報配信

所属学会

土木学会, ISIE(International Society of Industrial Ecology), 廃棄物学会, 日本リモートセンシング学会, 環境科学会, 環境情報科学



都市環境学専攻持続発展学系 環境システム・ストック型社会 Environmental system

白川 博章

SHIRAKAWA Hiroaki



気候変動の影響は既に顕在化しているといわれています。しかし、気候変動対策には多額の費用が必要で予算には限りがあるため、どこで、どのような対策を優先的に実施すべきか、という問題が起きています。

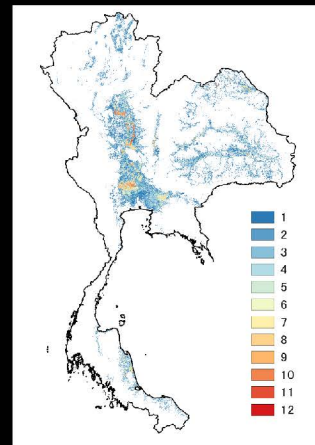
衛生データを用いた災害リスク評価、将来の人口予測、など自然科学的知見・社会科学的知見を統合して、気候変動が社会に与える影響や対策の効果をシミュレーションできる、気候変動対策支援システムの開発に取り組んでいます。

日本における気候変動適応策 webシミュレータの開発

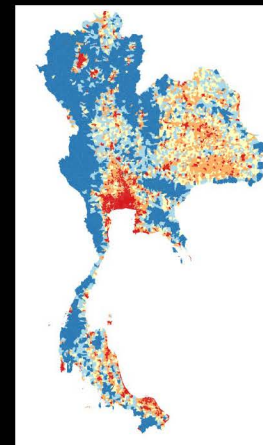


洪水による想定浸水深を3Dで表示

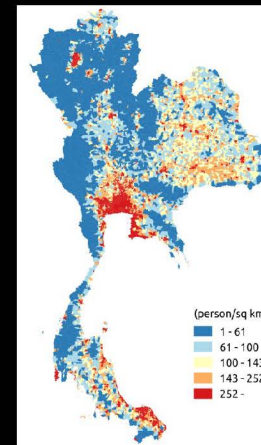
タイにおける気候変動適応策の研究



衛生データを用いた
洪水リスクの評価

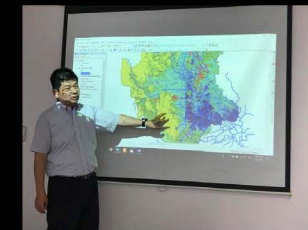


2015年(実績)



2050年(予測)

人口の空間分布



タイ北部における洪水被害の現地調査



白木 裕斗 (SHIRAKI Hiroto)

- ◆ 東京大学大学院修了 (博士(環境学))
- ◆ 国立環境研究所 (2014.4~2016.9)
- ◆ 滋賀県立大学 (2016.10~2023.3)
- ◆ 名古屋大学 (2023.4~)
- ◆ 専門: エネルギーシステム学

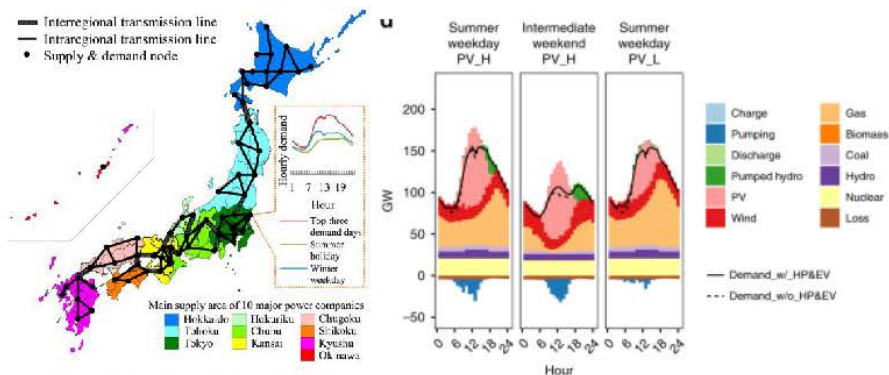


Fig. 3. Image of multi-regional optimal generation planning model.

研究テーマ

- ◆ 数理モデルを用いた世界・国・自治体規模の長期エネルギーシステム分析
- ◆ 国を対象にしたエネルギーシステムモデルの入出力情報に関するメタ分析
- ◆ 日本の過去のCO₂排出量の要因分析
- ◆ 統計手法を用いたミクروسケールのエネルギー需要行動分析

所属学会

エネルギー・資源学会、土木学会

アクセス : 環境総合館5階507号室

WEBサイト : <http://sd.urban.env.nagoya-u.ac.jp/shiraki/>

